

県外派遣報告書

審判員名	若林 哲		所属	中体連
大会名	第43回関東中学校バスケットボール大会			
期間	平成25年8月5日(月)～7日(水)			
会場	ひたちなか市総合運動公園総合体育館			
スケジュール				
期 日	内 容		場 所	
8月5日(月)	審判会議 1回戦		ひたちなか市総合運動公園総合体育館	
8月6日(火)	2, 3回戦		ひたちなか市総合運動公園総合体育館	
8月7日(水)	準決勝、決勝		ひたちなか市総合運動公園総合体育館	
会議 講義 内容				
<p>審判会議において今回指名で派遣された前田氏、長尾氏よりレクチャーが行われた。長尾氏からは動きの4原則について、そしてどんな審判員になりたいか、そのためにどんな努力をしているか、などを受講生とのやり取りを通して話をして頂いた。前田氏からはTO管理の重要性、そして今の自分の姿は日頃の選択の結果であることをレクチャーして頂いた。地区のゲームであってもブロック大会でも取り組む姿勢は同じ、毎日のコツコツした積み重ねが大切であるとの話があった。</p> <p>最終日には安西審判長のレクチャーが行われた。「より良い判定のために」というテーマで様々な角度から、よい判定・審判について分かりやすく説明して頂いた。</p>				
実技				
担当試合	期 日	8月5日(月)	男子	1回戦
	対戦カード	小平二 VS 泉丘	主審	
	相手審判	佐藤 昭氏(栃木県)		
ミーティング内容		主任 藤代 透氏(東京都)		
<p>判定する際に、オフェンス・ディフェンス双方にきちんと目を当てておくことが大切。単にオフェンスに止まる意志がない、というだけでなくディフェンスの守り方は正当なのかもしっかりと見るべき。主審ということで基準を作ろうとし過ぎて軽い笛がある。手の使い方については何度か笛を入れていたが、「その手の使い方は絶対に許さない」ということが伝わるように吹くべきだし、やり続けるのであれば吹き続けるべきである、とのお話を頂いた。</p>				
担当試合	期 日	8月6日(火)	女子	2回戦
	対戦カード	府中九 VS 並木	副審	
	相手審判	庄司 周平氏(千葉県)		
ミーティング内容		主任 安藤 俊明氏(千葉県)		
<p>シリンダー内で手を挙げているように見えても、面が変わった時に横からトルソーで接触を起こしているケースなど、もう少し笛を入れても良かった。</p> <p>今回のゲームでの「やりきった度」はどのくらいか。「もっとできるのではないか」というのが外から見た率直な感想。滑らかに動いているが、必要であれば機敏に動いたり、リードで右に移動した後にずれたり向きを変えたりするともっと良い。ランレポートランなどの動きにも気を配ることでゲーム中の動きも変わってくる、とのお話を頂いた。</p>				
全体の感想				
<p>前田氏のレクチャーの通り、「今の自分は日頃の選択、取り組みの結果である」ことを痛感した。日頃からの課題であるチープな笛も、今後プレイを吟味して減らしていく必要がある。そして今回初めてブロック大会で主審を任せられ、改めてゲーム全体に気を配り、円滑に進めることの重要性を感じた。同年代のA級審判員の姿も見ることができ、大きな刺激を受けた。</p> <p>今回の関東大会において茨城県協会の方々には大変お世話になりました。この場を借りて御礼申し上げます。また派遣して頂いた埼玉県協会のためにも、今回の派遣で得たものを忘れずに精進すると共に、中体連だけでなく多くの方々にフィードバックしていきたいと思っております。ありがとうございました。</p>				